

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その1)

施策体系コード		1-2-1			事業名	特色ある市立高校づくり
担 当		教育委員会学校教育推進課企画担当 村上 TEL 211-3838				
全 体 計 画						
事業内容	□高校改革の包括的な進行管理を行い、これまで実施してきた各校の特色づくりの検証に加え、今後のあり方についても検討を進める。 □藻岩、新川について、他の高校の特色づくりや費用対効果を考慮しながら、これまで各校が培ってきた特色づくりを活かし検討を進める。 □通学区域の拡大に伴い、市立高校の教育内容や入学者選抜制度等について、生徒・保護者に十分な理解及び周知を図るために、市立高校合同の説明会などの実施を検討する。 □市立札幌大通高校の新設に伴い、定時制課程が無くなり空き教室が生じる各学校(新川・平岸・啓北)について、今後の特色づくりの方向性を踏まえ、空き教室の有効活用を検討する。 □中高一貫教育校について、学校関係者・外部有識者からなる検討協議会を立ち上げ、本市における中高一貫教育校の必要性とその望ましいあり方について協議の上、検討結果を答申としてまとめてもらい、答申の内容や答申に対する市民意見等を踏まえ、平成22年度中を目標に、設置の可否を含めた方針を決定する。 □共通4施策を引き続き推進する。特に、進路探究学習におけるインターンシップ等推進事業については、事業の必要性等に応じた新たな仕組み作りを検討する。				＜年度別の事業内容＞	
					【平成19年度】市立札幌大通高校の開校準備。中高一貫教育に関して、アンケートの実施、検討成果の取りまとめ及び市民意見の募集。 【平成20年度】市立札幌大通高校の開校。中高一貫教育検討協議会の設置。市立高校合同説明会の開催。インターンシップ等推進事業について新たな仕組みの構築に着手。 【平成21年度】藻岩高校・新川高校の魅力ある学校づくりの方向性について確定。中高一貫教育検討協議会からの答申書の公表、答申書に対する市民意見の募集。新川高校・平岸高校・啓北商業高校について、特色づくりを踏まえた空き教室の有効活用について検討。 【平成22年度】中高一貫教育校の設置の可否を含めた方針について決定。	
事業内容・量・場	平成19年度事業内容（決算）				平成20年度事業内容（決算）	
	□藻岩高校・新川高校の魅力ある学校づくりに向けた調査研究等の取組を推進。 □市立札幌大通高校の開校準備(教育内容、施設設備整備等)。 □中高一貫教育に関して、幅広く市民ニーズを把握するために保護者及び子どもを対象として実施した「中高一貫教育に関する調査(アンケート)」を取りまとめ、これまで検討してきた内容と今後検討すべき事柄などについてまとめた「札幌市における中高一貫教育のこれまでの検討について」を公表し、更に中高一貫教育に関する市民意見の募集を実施。				□市立札幌大通高校の校内体制の整備、市民への周知。 □本市にふさわしい中高一貫教育のあり方や教育内容等について検討するため「中高一貫教育検討協議会」の設置、協議会の開催。 □市立高校合同説明会の開催(会場:札幌コンベンションセンター大ホール、対象:市立中学校3年生及びその保護者等) □インターンシップ等推進事業について、新たな仕組みの構築に着手。	
規模・件数等	平成21年度事業内容（決算）				平成22年度事業内容（予算）	
	□市立札幌大通高校の校内体制の整備、市民への周知。 □「中高一貫教育検討協議会」の答申書の公表、設置の可否を含めた検討。 □市立高校合同説明会の開催(会場:札幌市民ホール、対象:市立中学校3年生及びその保護者等) □新川高校・平岸高校・啓北商業高校について、特色づくりを踏まえた空き教室の有効活用について検討。 □藻岩高校の「環境教育」の定着。 □新川高校の新教育課程「フロンティア・エリア制」の実施開始。				□市立札幌大通高校の校内体制の整備、市民への周知。 □中高一貫教育校の設置の可否を含めた検討。 □市立高校合同説明会の開催(会場:札幌市民ホール、対象:市立中学校3年生及びその保護者等)	

平成22年度第2次札幌新まちづくり計画事業進行調書(その2)

施策体系コード	1-2-1		事業名	特色ある市立高校づくり		
達成目標の状況						
項 目		18年度末 (現 状)	19年度末 (実 績)	20年度末 (実 績)	21年度末 (実 績)	22年度末 (予 定)
新たに導入した学科やコースなどの制度数(累計)		5制度	5制度	5制度	7制度	8制度
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)						
■市民との連携、市民参加 学識経験者や公募による市民などからなる「札幌市中高一貫教育検討協議会」を設置し、多様な市民意見を取り入れて検討を進めた他、協議会の会議については市民に公開して開催し、会議録等をホームページに掲載した。また、協議会からの答申に関し、ホームページ等により市民への意見募集を実施した。 ■企業等との連携・協働 [資金協力](該当なし) [人材協力](該当なし) [情報協力](該当なし) [その他の協力](該当なし) ■市民・企業等が参加しやすい環境づくり (該当なし)						
評 価 (成 果)				課 題		
平成15年2月に策定した札幌市立高等学校教育改革推進計画に基づき、生徒の能力・適性、興味・関心、進路希望等の多様化に対応するため、普通科単位制・普通科専門コースの導入や、特色ある専門学科の設置等、魅力ある学校づくりを進めてきた。 これらの特色づくりを行うことによって、生徒が自己の興味・関心に基づいた学校選択を行うことが可能になるとともに、多様化している生徒の学習ニーズに対応することが出来ることになり、生徒一人ひとりの個性を伸ばし、自立した市民の育成に効果を上げている。				左記記載のとおり、各校の特色づくりは大きな効果を上げているが、それを支える施設設備等の環境整備や財政的な支援の検討を行う必要がある。		
今 後 の 事 業 の 予 定 ・ 方 向						
平成21年度から道立高校については、石狩管内を石狩学区として一つの通学区域に統合し、札幌市立高校においても、同様に全日制課程の通学区域を札幌市域としたことから、今後より一層、生徒の興味・関心、進路希望等の多様なニーズに対応した学校の特色が求められることになる。 また、中高一貫教育など札幌市立高等学校教育改革推進計画に位置づけられている事項については引き続き検討を進める。						

(単位:千円)

施策体系コード		1-2-1				事業名		特色ある市立高校づくり	
事業費の推移									
項目				19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費			10,002	10,000	10,000	9,998	40,000	
	財源内訳	国・道支出金		0	0	0	0	0	
		市債		0	0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	0	
		一般財源		10,002	10,000	10,000	9,998	40,000	
予算	事業費			10,002	10,002	9,302	7,300	36,606	
	財源内訳	国・道支出金		0	0	0	0	0	
		市債		0	0	0	0	0	
		その他		0	0	0	0	0	
		一般財源		10,002	10,002	9,302	7,300	36,606	
実績	事業費			11,139	9,116	6,220	—	26,475	
	財源内訳	国・道支出金		0	0	0		0	
		市債		0	0	0		0	
		その他		0	0	0		0	
		一般財源		11,139	9,116	6,220		26,475	
事業費の進捗率				(H19実績+H20実績+H21実績+H22予算事業費) / (計画事業費)					84.4%
計画との差異(予算・実績・事業内容・規模・時期等)									
《全体》									
[19年度]									
[20年度]									
[21年度]									
[22年度]									